

■氏名 :小日向英俊

【研究業績】

■著書・編著書・CD・楽譜出版等

表題	単著・共著	発行年月	出版社・発行元
インド：バナーラス音楽歳時記-地球の音楽：フィールドワーカーによる音の民族誌 第9巻	単著	1992年	東京：日本ビクター
<i>Data Bank on Traditional/Folk Performing Arts in Asia and the Pacific</i>	共著	2000年	Tokyo: Asia/Pacific Cultural Centre for UNESCO (ACCU) (ユネスコ・アジア文化センター)
月の明かりで	共著	2005年	Raga Tala Records
作曲家のためのシタール基礎	単著	2007年6月	小日向英俊
北インド声楽様式ドゥルパドの技法	単著	2010年12月	小日向英俊 制作（科研課題：21520161、科研費補助金の助成による発行、約35分DVD）
イントロを見る・聴く・奏てゝる人々-日本における異文化音楽受容史の視点から-	単著	2012年10月	小日向英俊 制作（科研課題：21520161、科研費補助金の助成による発行、約24分）
学びがグーンと深まる！〈エクスパート発〉人気の中学音楽2プロの演奏でつくる！「日本・アジアの伝統音楽」授業プラン	共著	2014年1月	東京：明治図書出版
インド文化事典	共著	2018年3月	東京：丸善出版
<i>Music in the Realm of Fireflies</i>	共著	2024年8月	中国：Rhymoimusic

■学術論文・研究報告書等

表題	単著・共著	発行年月	発行雑誌・学会等の名称
『スワラ・メーラ・カラーニディ』における矛盾と音楽史的意味	単著	1988年3月	『インド音楽研究』1
インド音楽研究とイティハーサ	単著	1988年9月	『東洋音楽研究』LIII（東京：社団法人東洋音楽学会）
インド音楽の諸相	単著	1988年11月	『文明フォーラム』2
古典楽器の演奏“ルドゥラ・ヴィーナ”	単著	1988年	『音と映像による世界民族音楽体系解説書Ⅰ』（東京：平凡社）
古典楽器の演奏“シタール”	単著	1988年	『音と映像による世界民族音楽体系解説書Ⅰ』（東京：平凡社）
インド古典音楽	単著	1988年	『音と映像による世界民族音楽体系解説書Ⅰ』（東京：平凡社）
南アジアの楽器-環インド圏に伝わる多彩な楽器群を分類する	単著	1989年7月	『包』15
インド音楽の諸相II	単著	1989年11月	『文明フォーラム』3
幅広いインド音楽研究のために	単著	1989年12月	『季刊ノイズ』4
<i>Rudra Vina</i>	単著	1989年	<i>The JVC Video Anthology of World</i>

			<i>Music and Dance Book IV: South Asia</i> (Tokyo: JVC Victor Company of Japan)
<i>Sitar</i>	単著	1989年	<i>The JVC Video Anthology of World Music and Dance Book IV: South Asia</i> (Tokyo: JVC Victor Company of Japan)
<i>Indian Classical Music</i>	単著	1989年	<i>The JVC Video Anthology of World Music and Dance Book IV: South Asia</i> (Tokyo: JVC Victor Company of Japan)
シタール：高度な技術の集合体	単著	1990年3月	『季刊ノイズ』 5
インド音楽の多様化	単著	1990年4月	『ユリイカ臨時増刊号-ワールド・ミュージック』
インド音楽の巨匠	単著	1990年	『音楽ドキュメンタリー；シタールの巨匠ラヴィ・シャンカル』 (LD)LSZS00189
LD『音楽ドキュメンタリー；シタールの巨匠ラヴィ・シャンカル』字幕スーパー	単著	1990年	『音楽ドキュメンタリー；シタールの巨匠ラヴィ・シャンカル』 (LD)LSZS00189
緻密かつ変幻自在のインド古典音楽	単著	1991年3月	『季刊ノイズ』 9
座談会「多様性の森に分け入る」	共著	1991年3月	『季刊ノイズ』 9
翻訳「20世紀の西洋諸国におけるインド音楽の受容」 (ヨーゼフ・クッカーツ)	単著	1991年3月	『武蔵野音楽大学研究紀要』 22
教則本に見るシタール音楽	単著	1994年3月	『国立音楽大学研究紀要』 28
教則本『シタール・ダルパン』のラーガ	単著	1995年3月	『インド音楽研究』 5
インド	共著	1995年	『ニューグローブ世界音楽大事典』別巻1「図書館VII [追補]アジア、北アフリカ 3. 南アジア インド」
北インド古典音楽	単著	1995年	『新 音と映像による 世界民族音楽体系解説書 I』
サロード	単著	1995年	『新 音と映像による 世界民族音楽体系解説書 I』
タブラ独奏	単著	1995年	『新 音と映像による 世界民族音楽体系解説書 I』
<i>The Relevance of Economic Liberalization Policies of India to its Popular/Traditional Music Markets</i>	単著	1996年	『「アジア諸民族音楽文化のダイナミズム-伝統と変容-」報告書』
傍聴記：Ziklish vertauschbare Anordnungの話-H. Glareanus(1547)・小泉文夫(1958)・大塚拜子(1995)- ：発表者＝東川清一	単著	1996年	『日本音楽学会関東支部通信』 46/47 合併号
傍聴記：ガーナ、ファンティ族の「口唱歌」の体系-音象徴	単著	1996年	『日本音楽学会関東支部通信』 46/47 合併号

性-から:発表者=塚田健一			
<i>An Observation on Vina Type of Musical Instruments in Ancient India : from Organological and Musicological Viewpoint of Buddhist Arts</i>	単著	1999年3月	『国立音楽大学研究紀要』 33
南アジアの太鼓のフィールドワークから—タブラー・バーヤーンの製作—	単著	2000年	『第3回アジア職人文化専門家会議報告書』
日本音楽学会関東支部第288回研究会 (第67回日本音楽学会・東洋音楽学会合同例会) 研究発表: 番いリズム考およびディスカッション「世界の音律をめぐって」 傍聴記	単著	2001年	『日本音楽学会関東支部通信』 56
<i>Indic Music and European Researchers from Late Eighteenth through Early Nineteenth Centuries --- Activities in the Asiatic Society in India ---</i>	単著	2002年	<i>Asian Musicology</i> Vol.1
<i>Perception of Asian Musics in Showa Period of Japan --- From Observations of Articles in Music Magazine 'Ongakuno Tomo' between 1941 and 1989 ---</i>	単著	2003年3月	『国立音楽大学研究紀要』 37
書評 V. ラーガヴァン編著 『楽聖たちの肖像-インド音楽史を彩る11人』	単著	2003年8月	『東洋音楽研究』 第68号
<i>Sangit in Japan since 1960 ---Its Reception and Application---</i>	単著	2003年	<i>Proceedings for IMJ2002</i>
<i>The Reception of Asian Musics in Modern Japan --- Who are learning or performing Indian music? ---</i>	単著	2007年3月	『国立音楽大学研究紀要』 41
<i>"The reception of cross-cultural musics in modern Japan and the role of Min-On: With a focus on South Asian musics"</i>	単著	2010年3月	『国立音楽大学研究紀要』 44
第62回大会レポート: 鈴木良枝 「ハールのコン・クヒャールの演奏様式に関する一考察—ウカール奏者の音楽的役割について—」 および丸山洋司 「即興演奏を身につけるプロセス—シタールの学	単著	2012年1月	『東洋音楽学会会報』 第84号

習と演奏を中心にー」			
“South Asian Music Recordings in Japan”	単著	2012年3月	『国立音楽大学研究紀要』46
東京音楽大学付属民族音楽研究所所蔵楽器の紹介(1)	単著	2014年3月	『ライブラリーレポート』Vol. 1
傍聴記：David Trasoff「Historical Development of Contemporary Sarode Performance」	単著	2014年11月	『東洋音楽学会東日本支部だより』第36号
傍聴記：博士論文発表「宗教芸能バジャナ・サンプラダーヤの変容-楽曲レパートリーに着目して-」小尾淳	単著	2014年11月	『東洋音楽学会東日本支部だより』第36号
東京音楽大学付属民族音楽研究所所蔵楽器の紹介(2)	単著	2015年3月	『伝統と創造』Vol. 4
世界音楽：日本における受容とその意味	単著	2015年3月	『伝統と創造』Vol. 4
日印文化交流に関する国際会議「India and Japan : Roads to the Modern」(ニューデリー)に参加して	単著	2015年3月	『パラゴース』Vol. 2
傍聴記：博士論文発表「現代オルティン・ドーの変容-パフォーマンスに関わる諸要素の分析を通して-」策力格尔	単著	2015年11月	『東洋音楽学会東日本支部だより』第39号
東京音楽大学付属民族音楽研究所所蔵楽器の紹介(3)	共著	2016年3月	『伝統と創造』Vol. 5
沖縄インド人コミュニティの音楽	単著	2016年3月	『伝統と創造』Vol. 5
インド音楽世界の定量研究の試み	単著	2016年3月	『パラゴース』Vol. 3
書評 田森雅一著『近代インドにおける古典音楽の社会的世界とその変容：“音楽すること”の人類学的研究』	単著	2016年8月	『東洋音楽研究』第81号
書評 岡田恵美著『インド鍵盤楽器考ーハルモニウムと電子キーボードの普及にみる楽器のグローバル化とローカル文化の再編』	単著	2017年3月	『音楽学』第62巻2号
南アジアの太鼓のフィールドワークからーコルカタのタブラー・バーヤーン製作ー	単著	2017年3月	『伝統と創造』Vol. 6
沖縄インド人コミュニティの宗教歌謡-旋律構造(その一)	単著	2018年3月	『伝統と創造』Vol. 7
東京音楽大学付属民族音楽研究所所蔵楽器の紹介(4)	単著	2018年3月	『伝統と創造』Vol. 7
INTERVIEW タゴール家とインド音楽(特集 旅する楽器)	共著	2018年10月	『季刊民族学』42(4)
シタールとタンブーラー：南	単著	2018年10月	『季刊民族学』42(4)

アジアのリュート系楽器の旅 シタールを日本で使うということ	単著	2019年2月	『月刊みんぱく』43(2)
沖縄インド人コミュニティの宗教歌謡-旋律構造(その二)	単著	2019年3月	『伝統と創造』Vol. 8
東京音楽大学附属民族音楽研究所所蔵楽器の紹介(5)	単著	2019年3月	『伝統と創造』Vol. 8
東京音楽大学附属民族音楽研究所所蔵楽器の紹介(6)	単著	2020年3月	『伝統と創造』Vol. 9
<i>Indo-mono musical works in modern Japan - a focus on Kazuo Yamada and Sadao Itō</i>	単著	2020年5月	<i>Asian Musicology Vol. 31</i>
書評 小尾淳著『近現代南インドのバラモンと賛歌——バクティから芸術、そして「文化資源」へ』	単著	2021年3月	『音楽学』66(2)
東京音楽大学附属民族音楽研究所所蔵楽器の紹介(7)	単著	2021年3月	『伝統と創造』Vol. 10
アートマネジメントにおける日本とアジアの伝統音楽・芸能	単著	2022年2月	『日本とアジアの伝統音楽・芸能のためのアートマネジメントハンドブック』(東京:東京音楽大学文化庁補助事業推進室)
対談 アジアの伝統音楽・芸能公演の現在と未来—私と公の間から	共著	2022年2月	『日本とアジアの伝統音楽・芸能のためのアートマネジメントハンドブック』(東京:東京音楽大学文化庁補助事業推進室)
日本とアジアの芸能ネットワークづくり—オンライン芸能村	共著	2022年2月	『日本とアジアの伝統音楽・芸能のためのアートマネジメントハンドブック』(東京:東京音楽大学文化庁補助事業推進室)
八王子音楽祭2021「世界の楽器展覧会」	単著	2023年3月	『伝統と創造』Vol. 11
書評 野澤豊一・川瀬慈著『音楽の未明からの思考 ミュージッキングを超えて』	単著	2023年8月	『東洋音楽研究』88号

■音楽活動等

名称	実施年月	活動	場所
北インド古典音楽	1990年10月16日	シタール演奏	日本国際ユニオン
インド音楽の世界とその魅力:シタールとともに	1991年5月9日	シタール演奏	慶応大学日吉キャンパス
インド音楽シリーズ-3:シタールとカタック	1991年11月9日	シタール演奏	インド大使館
音楽の源泉を求めて	1992年2月8日	シタール演奏とインタビュー	TBSラジオ
佐野美術館ギャラリーコンサート	1994年8月27日	シタール演奏	佐野美術館(静岡県三島市)
インド夜想曲	1996年8月18日	シタール演奏	サールナートホール(静岡県静岡市)

(様式)

ラーガ、その彩り	1997年10月 3日	シタール演奏	糺ホール(神奈川県川崎市)
タン・ドゥン作曲《マルコポーロ》日本フィルハーモニー	1998年7月9 日～10日	シタール演奏	サントリーホール
インド／セネガル-即興の世界	1999年9月 30日	シタール演奏	Plan-B (東京：中野区)
ホーリー春祭り—シタールとバラタナーティヤムの競演—	2001年3月3 日	シタール演奏	サールナートホール(静岡県静岡市)
スイタールのタベ	2002年10月 21日	シタール演奏	カール・イル・ムゼオ(静岡県静岡市)
インドの鼓動II—シタールとバラタナーティヤムの出会い—	2003年6月 27日	シタール演奏	静岡清水文化センター小ホール(静岡県静岡市)
スイタールのタベ-北インド古典音楽	2003年7月4 日	シタール演奏	パーシモンホール(東京：目黒区)
洗足学園音楽大学マスターズコンサート	2005年9月9 日	シタール演奏	洗足学園音楽大学
悠久のオリエント」(現代ヴィオール・コンソート展XXIII)	2008年12月 9日	シタール演奏	カトリック本郷教会(東京：文京区、神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団主催)
「震える言の葉」 G. Crumb & L. Berio作品展	2009年10月 6日	シタール演奏	東京オペラシティリーサイタルホール(坂本知亜紀主催)
インドを奏でる人々-その音楽受容と変容 ミニコンサート	2013年1月 19日	シタール演奏	東京音楽大学(東京：豊島区、日本音楽学会2012年度支部横断企画、科研21520161共催)
躍動するインドの音とリズム	2013年10月 23日	シタール演奏	洗足学園音楽大学シルバーマウンテン(川崎市)
第14回北インドの音楽を楽しむ	2014年7月 24日	シタール演奏と講義	かわさき市民アカデミー2014年度前期：音楽II「世界の音楽を楽しむ」(川崎市)
世界音楽紀行第2回「インド音楽と舞踏～北の響き、南の躍動～」	2016年9月 20日	シタール演奏と講義	洗足学園音楽大学前田ホールピロティー(川崎市)
マカームとラーガ～旋法音楽の世界～	2017年3月 25日	シタール演奏と講義	多摩美術大学レクチャーAホール

東西の音楽にみる装飾	2017年6月10日	シタール演奏と講義	デザイン・クリエイティブセンター神戸（神戸）
マカームとラーガ2～即興演奏の技法～	2017年12月2日	シタール演奏と講義	多摩美術大学レクチャーAホール（八王子市）
アジアに目を向けて～インドの文化と音楽～	2017年11月18日	シタール演奏と講義	「としまコミュニティ大学」東京音楽大学A200教室
Indian Night in Kunitachi	2018年10月21日	シタール演奏	地球屋（国立市）
マカームとラーガ3	2018年12月1日	シタール演奏と講義	多摩美術大学レクチャーAホール（八王子市）
内幸町天竺祭	2019年2月9日	シタール演奏	内幸町ホール（東京都）
国立民族学博物館企画展「旅する楽器-南アジア、弦の響き」第3回ギャラリー公演	2019年3月30日	シタール演奏	国立民族学博物館（大阪府）
アラブ古典音楽&インド古典音楽 シルクロードの出会い	2019年8月31日	シタール演奏	リンデンバウム（習志野市）
アフタヌーンコンサート	2019年9月14日	シタール演奏	artspace & café（足利市）
公開講座 アラブ・アンダルシアとルネサンス	2019年12月14日	シタール演奏と講義	多摩美術大学レクチャーAホール（八王子市）
内幸町天竺祭	2020年2月	シタール演奏	内幸町ホール（東京都）
耳と目で感じよう インドの音楽と踊り	2023年11月11日	シタール演奏と講義	世田谷美術館
その他の小規模演奏は省略			

■学会・学術研究会での発表・講演等

表題	単著・共著	実施年月／会場	発表学会の名称
シンポジウム「民族音楽研究の今日と未来 南アジアのフィールドから」	共同	1987年10月17日／上越教育大学	社団法人東洋音楽学会第38回大会公開シンポジウム
16, 17世紀のインド音楽理論書に見られるルドゥラ・ヴィーナーについて-その調弦法を中心に-	単独	1988年10月16日／大阪国際交流センター	社団法人東洋音楽学会第39回大会
インド音楽の諸相	単独	1988年11月20日	比較文明学会大会
インド音楽におけるシュルティの幻想	単独	1989年07月22日／東京芸術大学	インド音楽研究会第13回定例研究会
シタール教則本『シタール・ダルパナ』の研究	単独	1989年10月22日／武蔵野女子大学	社団法人東洋音楽学会第40回大会
ラウンドテーブル「パフォーマンス研究の未来」	共同	1990年12月8日／東京音楽大学	日本音楽学会関東支部第219回定例会
絵の中に見える音楽-インド音楽の場合-	単独	1991年4月13日／東京都児童会館	零の会4月研究会

一遍聖絵に見る音楽	共同	1991年4月20日／ 私学会館アルカ ディア市ヶ谷	一遍研究会 4 月定例研究会
ラーガ・マラー研究序説	単独	1991年5月25日／ 東京芸術大学	インド音楽研究会第29回定例研 究会
<i>Sitar music: with video clip</i>	単独	1991年10月30日／ ウィスコンシン大 学、米国	"The Performing Arts in India Atlas" at the 20th Annual Conference on South Asia (The University of Wisconsin, U.S.A.)
<i>The relevance of economic liberalization policies of India to its popular/traditional music markets</i>	単独	1995年10月27日／ 国立民族学博物館	文部省シンポジウム「アジア諸 民族音楽文化のダイナミズム－ 伝統と変容－」（国立民族学博 物館）
インドの中等教育における音楽 教育-デリー市、パナーラス 市、マドラス市の事例から-	単独	1996年10月13日／ 昭和音楽大学	社団法人東洋音楽学会第47回大 会
20世紀の音楽生成-インドとイ ンドネシアの場合	共同	1998年6月6日／東 京芸術大学	社団法人東洋音楽学会第416回 定例研究会
<i>Musics of Indian Subcontinent and English Researchers in the Late 18th through Early 19th Centuries ---Activities in Asiatic Society in India---</i>	単独	1999年8月24日／ 広島市立大学	ICTM 1999 Hiroshima
南アジアの太鼓のフィールド ワークから-タブラー・バー ヤーンの製作-	単独	2000年7月29日／ 大塚文化会館、東 京都	第3回アジア職人文化専門家国 際会議（アジア造形文化研究所 主催）
インドの太鼓の音象徴性研究序 説	単独	2001年1月13日／ 国立民族学博物館	国立民族学博物館共同研究「南 アジア音楽・芸能研究の再検 討」（代表：寺田吉孝）
<i>Sangit in Japan since 1960s - Its Reception and Application-</i>	単独	2002年11月4日／ 静岡コンベンショ ンアーツセンター グランシップ、 静岡市	IMJ2002 Shizuoka (Musicological Society of Japan, International Congress in Shizuoka in Celebration of the 50th Anniversary: Musicology and Globalization)
1980年代以降の南アジア音楽受 容史-「私心」による交流の未 来	単独	2010年11月14日／ 東京学芸大学	社団法人東洋音楽学会第61回大 会
北インド音楽様式ドゥルパドの 技法	単独	2010年11月13日～ 14日／東京学芸大 学	社団法人東洋音楽学会第61回大 会（映像発表）
無料動画配信サービスにおける 世界音楽受容と発信-南アジア 音楽の事例-	単独	2012年4月21日／ 東京芸術大学	一般社団法人東洋音楽学会東日 本支部第64回定例研究会
イントロを見る・聴く・奏てゝ る人々-日本における異文化音 楽受容史の視点から-	単独	2012年10月6日～7 日／東京外国語大 学	南アジア学会第25回全国大会 （映像発表）

インドを奏でる人々その音楽受容と変容	単独	2013年1月19日／東京音楽大学	2012年度日本音楽学会支部横断企画（科研課題21520161「現代日本における南アジア音楽の受容と変容」と共催、東京音楽大学）
インド音楽・舞踊の日本における受容	単独	2013年2月16日／国立民族学博物館	現代インド地域研究国立民族学博物館拠点合同研究会
邦人音楽作品における「南アジアもの」—合唱と即興—	単独	2013年11月10日／静岡文化芸術大学	一般社団法人東洋音楽学会第64回大会
<i>Asian Syncretism in East Asian Music: Composers in Modern Japan</i>	単独	2014年8月22日／Nara University of Education, Nara	Fourth International Symposium of the ICTM Study Group on Musics of East Asia
<i>Reception of Indian Music in Modern Japan</i>	単独	2014年9月13日／India International Centre, Delhi	International Conference “India and Japan: Roads to the Modern” (Organized by the East Asia Programme of the Institute of Chinese Studies, Delhi, supported by the Japan Foundation)
<i>Sangeet on the Internet – As A New Research Subject and Tool</i>	単独	2015年7月21日／Kazakh National University of Arts	The 43 rd ICTM World Conference
北インド演奏家の海外演奏歴について	共著	2015年10月25日／東京藝術大学	一般社団法人東洋音楽学会第66回大会パネルディスカッション「伝統音楽研究における定量的アプローチの可能性と課題—インド音楽世界の動向を事例として—」
沖縄インド人コミュニティの音楽	単独	2015年11月15日／青山学院大学	日本音楽学会第66回大会
世界音楽教育におけるインターネット資源の活用—動画配信サービスの場合—	単独	2016年11月6日／放送大学東京文京学習センター	一般社団法人東洋音楽学会第67回大会
シタールの楽器学	単独	2017年10月21日／国立民族学博物館	MINDAS 2017年度「音楽・芸能班」第1回研究会「南アジアの弦楽器——歴史の変遷と現代的展開」
在沖縄インド人コミュニティの宗教歌謡—その形態と旋律—	単独	2019年11月17日／京都市立芸術大学	一般社団法人東洋音楽学会第70回大会
放送番組におけるインド音楽の受容とイメージ形成—NHK番組アーカイブス学術利用トライアルから—	単独	2020年11月8日／東京音楽大学	一般社団法人東洋音楽学会第71回大会
インド音楽世界における音楽家と演奏記録の統合的データベース構築とその可能性	共同	2022年11月13日／国際基督教大学	一般社団法人東洋音楽学会第73回大会
日本在住インド系コミュニティの音楽文化—その歴史と動態—	単独	2023年11月19日／京都教育大学	一般社団法人東洋音楽学会第74回大会

タイトル	制度名・研究種目	提供機関	研究期間	研究概要
現代日本における南アジア音楽の受容と変容	科研費・基盤研究(C) (研究課題番号21520161) 代表研究者	日本学術振興会	2009-04-01-2012-03-31	1950年代以後の日本における南アジア音楽・舞踊に関する主に公的・準公的部門が担った学術研究、演奏家招聘、音楽出版物発行などの受容形態、'80年代以降の私的興味に基づくインドでの音楽学習活動、'90年代以後の表現者による現地オリジナル様式や、他ジャンルとの融合様式による表現活動を研究した。南アジア音楽の受容が現代日本にある程度広まり、日本における変容の姿があること、受容が進行していることについても確認した。
インド音楽世界の定量的研究	科研費・基盤研究(C) (研究課題番号25370935) 研究協力者	日本学術振興会	2013-04-01-2016-03-31	本研究は、20世紀におけるインドの伝統音楽とその社会的世界の変化を定量的なアプローチによって把握することを目的とするものである。定量的二次分析の対象として、インド政府の音楽芸能の教育研究機関であるサンギート・ナータク・アカデミーから出版された『インド音楽家名鑑 WWIM』の初版(1968)と第2版(1984)を選定。『名鑑WWIM』所収の約3000人の諸属性について、データベース化を行い、重点項目のクロス集計による比較検討を行なった。また、各研究メンバーがインド各地の諸機関において関連資料の

				発掘・収集と関係者へのインタビューを行なった。そして、最終年度には研究成果についての学会発表を行った。
在日インド系コミュニティの音楽とその動態	科研費・基盤研究(C) (研究課題番号18K00140) 代表研究者	日本学術振興会	2018-04-01-2025-03-31	沖縄在住インド人コミュニティ、神戸在住インド人コミュニティ、東京在住インド人コミュニティの音楽文化についての研究
独立後のインド音楽世界を文化資源化する知の統合研究	科研費・基盤研究(B) (研究課題番号19H01206) 共同研究者	日本学術振興会	2019-04-01-2023-03-31	インド音楽は世界の多くの人々が関心を寄せる音楽だが、本研究では、今日まで個別に集積されてきたインド音楽に関わるデータを、特定の価値観にとらわれることなく網羅的に集め、整理・統合しなおして、世界の誰もがアクセス可能な汎用のデータベースを作ってネット上に公開することを目指す。
アートマネジメントでつなぐ在日移民コミュニティ インド・中国・ブラジル	科研費・基盤研究(C) (研究課題番号24K03588) 代表研究者	日本学術振興会	2024-04-01-2027-03-31	多文化性が進展する本邦において、「ともに生きる人」としての眼差しを複数の移民コミュニティに当てて、西洋クラシック音楽以外を対象とする「新しいアートマネジメント」の手法と音楽人類学研究を接合して、多文化共生、社会包摂の実現に向けて音楽を応用する。

■その他(自由記述)

社会における活動等				
a. 項目	b. 日付・年度・期間	c. 研修会等の名称	d. テーマ等	e. 対象者等

展覧会企画	1989年10月17日～29日	台東区立旧東京音楽学校奏楽堂秋の特別展「南アジアの音具—インドとその周辺の楽器」	展示企画全般および演奏	一般
文化講座講師	1992年2月4日	朝日カルチャーセンター「インド世界の形成」シリーズ	インドの古典音楽	一般
ワークショップ企画	1994年12月3日	日本電子専門学校ワークショップ	インド音楽	専門学校在学生
ワークショップ企画	1998年8月17日-20日	アビーズスタジオ(東京都豊島区)	音楽セミナー「音楽教師のためのインド音楽—シタール音楽ワークショップ—」講師=チャンドラカント・サルデーシュム博士(シタール)	専門家
編集委員	1999年7月	財団法人ユネスコ・アジア文化センター無形文化遺産事業	「伝統芸能・民俗芸能データバンク」編集・制作に関わる事業	芸能専門家
ワークショップ企画	1999年9月29日	Plan-B (東京中野区)	「シタールとタブラーによる即興システム入門」講師=サンディープ・バターチャリヤ(タブラー)、小日向英俊(シタール)	一般
集中講義	1999年10月	作陽大学音楽学部集中講義	インド音楽の基礎と器楽演奏技術基礎	音楽大学在学生
国立民族学博物館共同研究員	2000年4月～2003月4月	共同研究「南アジア音楽・芸能研究の再検討」(代表：寺田吉孝(2003年3月まで))	南アジア音楽・芸能	学術関係者
レクチャーコンサート講師	2002年6月20日	国立音楽大学楽器学資料館主催レクチャーコンサート	「北インド古典音楽の楽器～サーランギーとパカーワジ～」企画・講師	一般
集中講義	2003年～2008年(7月)	広島大学集中講義	民族音楽学1(シタール音楽実習)	教育学部学生

レクチャーコンサート講師	2003年6月19日	国立音楽大学楽器学資料館主催レクチャーコンサート	「インド古典音楽の楽器～シタール・タブラー・パカーワジ～」企画・講師	一般
学術委員会委員	2006年4月～2010年3月	音楽文献委員会委員 (RLM国内委員会)	日本音楽学会派遣委員	学術関係者
文化講座講師	2007年8月29日	東京世田谷ロータリークラブ2007年8月例会卓話	「インド音楽の多様性と近年の状況」	ロータリークラブ会員
洗足学園大学 MUSIC SHOWCASE シリーズ講師	2008年9月19日	洗足学園大学MUSIC SHOWCASEシリーズ講師	「ワールド・ミュージック・ツアー（アジア編）～アジアは楽しい！ インドとアラブ～」(パウゼ[原宿])	一般
セミナー講師	2008年9月28日	サトルエネルギー学会主催セミナー講師	「インド音楽」、北インド音楽の理解、鑑賞、発声、歌唱指導、即興の練習を含む午前・午後の講義と実習。	一般
市民講座講師	2011年7月9日	としまコミュニティー大学	もっと知りたいインドの文化と音楽	一般
市民講座講師	2014年7月24日	かわさき市民アカデミー2014年度前期：音楽II「世界の音楽を楽しむ」	北インドの音楽を楽しむ	一般
市民講座講師	2017年11月18日	としまコミュニティー大学	アジアに目を向けて～インドの文化と音楽～	一般
文化講座講師	2019年4月14日	NHKカルチャー	伝統楽器シタールで知るインド音楽の秘密	一般
国立民族学博物館文化資源共同研究員	2017年7月3日～2020年3月31日	企画展「旅する楽器ー南アジア、弦の響き」	企画展企画と準備および実施	一般
展覧会企画・監修・演奏会プロデュース	2022年3月24日～27日	八王子音楽祭2021～Music for Earth♪～	世界の楽器展覧会およびロビーコンサート企画	一般